

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 明治 軽井沢工場						
代表者名	氏名	重松 幹二	役職名	工場長			
主たる事務所の所在地	長野県佐久市平賀2082番地						
主たる事業の分類	大分類	E 製造業					
	中分類	09 食品製造業					
主たる事業の概要	プロセスチーズの製造						
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者					
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者					
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者					
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者					
原油換算エネルギー使用量	2,046	k1	その他ガス排出量合計	198	t-CO ₂	自動車の台数	2 台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

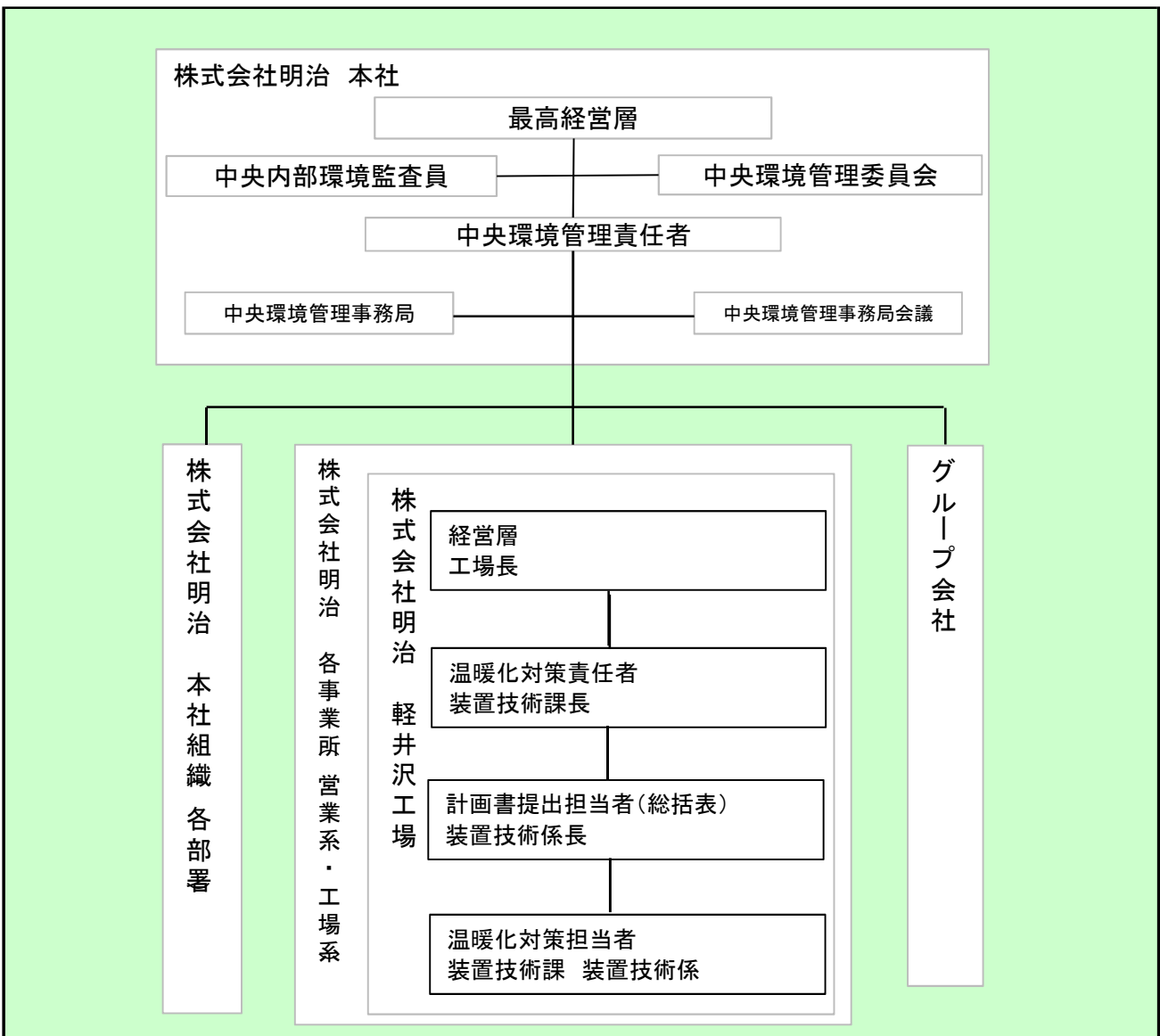
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	公表の要求があった場合、印刷物にて開示する。 閲覧可能な場所：株式会社明治 軽井沢工場 担当部署：装置技術課 装置技術係 連絡先：0267-63-5266
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

1. 国内外の環境にかかわる法令、条例、ステークホルダーとの協定、業界規範、自主基準を遵守します。
2. 環境マネジメントシステムを効果的に運用し、継続的な改善を図ります。
3. 商品の設計から廃棄に至るライフサイクル全般及びあらゆる事業活動において、生産性の向上、省資源、省エネルギーを推進し、環境負荷低減を図ります。
4. あらゆる事業活動において、グローバルな視野を持って生態系に配慮し、生物多様性の保全に努めます。
5. 自然を敬い、自ら進んで環境を考え行動する従業員を育成し、環境理念の実現を図ります。
6. 社会との対話や、環境活動への参画により、社会との共生を図ります。また、環境情報を適切に開示し、社会とのコミュニケーションを図ります。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	4,713	t-CO ₂	生産数量	15	単位	kt	
25年度	調整後排出量	3,874	t-CO ₂	基準原単位	304.97	t-CO ₂ /	kt	
目標年度	目標排出量	4,709	t-CO ₂	目標原単位	295.82	t-CO ₂ /	kt	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	0.08	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	目標年度の生産物量を基準年度に対し、3%増を想定。目標年度の原単位を基準年度に対し、3%減を目標とする。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,603	t-CO ₂	生産数量	15.62	単位	kt	
	調整後排出量	4,580	t-CO ₂	原単位	294.65	t-CO ₂ /	kt	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
26年度	削減率	2.33	%	削減率	3.38	%		
排出量等の増減理由	熱回収エアコンプレッサーの導入・ボイラー缶体保温を実施し、重油使用量は25年度比で-6.3%となった。 排水処理設備の曝気用ブローのIPMモーター化や充填室内の空調機をCOP効率が良い設備に更新することにより、電力使用量は25年度比で-0.1%となった。							
第二年度	排出量	4,681	t-CO ₂	生産数量	16.53	単位	kt	
	調整後排出量	4,663	t-CO ₂	原単位	283.23	t-CO ₂ /	kt	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
27年度	削減率	0.67	%	削減率	7.12	%		
排出量等の増減理由	①製品冷却用に使用していたアイスビルダーをCOP効率の良いブラインチラーへ更新し、15,000kWh/月の電力量の削減となった。 ②製造設備の洗浄頻度・方法を見直したことにより、重油使用量の削減となった。							
第三年度	排出量	4,621	t-CO ₂	生産数量	16.55	単位	kt	
	調整後排出量	4,598	t-CO ₂	原単位	279.21	t-CO ₂ /	kt	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	削減率	1.95	%	削減率	8.44	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	①真空ポンプ(周波数制御)への設備更新により電気使用量を25.3kWh削減 ②洗浄機の発停制御を見直し、電気使用量を5.7kWh削減 ③空調の周波数見直しにより電気使用量を42.7kWh削減							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	157	t-CO ₂			単位	
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	1	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	1	t-CO ₂	削減率	0	%
26年度						
排出量等の増減理由	特になし。					
第二年度	排出量	1	t-CO ₂	削減率	0	%
27年度						
排出量等の増減理由	特になし。					
第三年度	排出量	1	t-CO ₂	削減率	0	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	特になし。					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	360799 エアコンプレッサの排熱回収	26	68	26	68
2	エネ起	320301 蒸気配管の保温	26	19	26	26
3	エネ起	330204 冷凍機の凝縮器能力増強	26	26	26	0
4	エネ起	330202 製品用冷凍機の更新 (COP向上)			27	21
5	エネ起	320206 設備の洗浄頻度・方法の見直し			27	4
6	エネ起	360701 真空ポンプの設備更新			28	13
7	エネ起	360701 洗浄機の発停制御を見直し			28	3
8	エネ起	360701 空調の周波数見直し			28	22
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	839		23	18	23
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,712	1	4,603	1	4,681	1	4,621
1,500k1未満								
合計	1	4,712	1	4,603	1	4,681	1	4,621

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	151	153	190	186
CH ₄	4	3	3	5
N ₂ O	2	8	6	7
HFC				
PFC				
SF ₆				
合計	157	164	199	198

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				1
合計				1
自動車総数	2	2	2	2
次世代車導入割合				50

様式1号
(総括票)

14 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	無し
その他	無し

15 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	無し
公共交通機関の利用促進	無し
来客者の交通対策	無し
物流の合理化	無し

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	【規格】ISO14001、【承認範囲】プロセスチーズの製造	1998年
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	蒸気ドレントラップの点検実施。 蒸気ドレンの回収実施。 洗浄頻度の見直しによるエネルギー削減
第一年度実績	事務所の印刷機更新による塗料の効率的利用。 濾過装置の洗浄時間見直しによる排水量削減。
第二年度実績	設備の洗浄頻度の見直しによる水使用量削減及び排水量削減。 濾過装置の洗浄周期の見直しによる水使用量削減及び排水量削減。
第三年度実績	真空ポンプ（周波数制御）への設備更新により電気使用量を25.3千kWh削減。 洗浄機の発停制御を見直し、電気使用量を5.7千kWh削減。 空調の周波数見直しにより電気使用量を42.7kWh削減。

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	工場内にある照明（蛍光灯）の95%以上をLED化	70
その他		